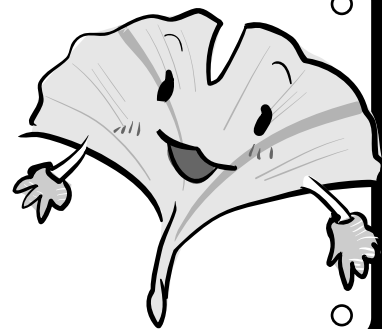


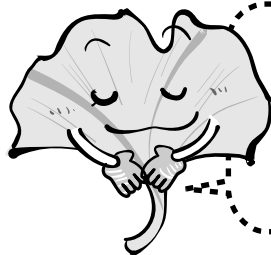
「より良い交通」のあり方を考える

地域検討会

徳地(袖野)



山口市都市整備部都市計画課交通政策室



10月4日(水)、徳地(袖野)地域を対象とした地域検討会を袖野支所で開催したところ、32名の方にご参加いただきました。ご参加の皆様、ありがとうございました。以下に当日の状況をご報告します。

プログラム

18:30~

開会 あいさつ
資料説明
旗上げアンケート
公共交通の課題、問題点
よりよい交通に向けてのアイデア
まとめ

20:30

閉会



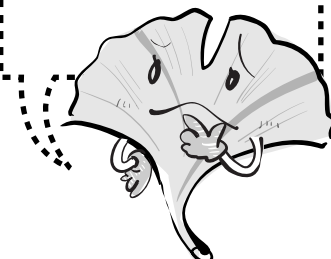
▲資料を説明している所です。

旗あげアンケート

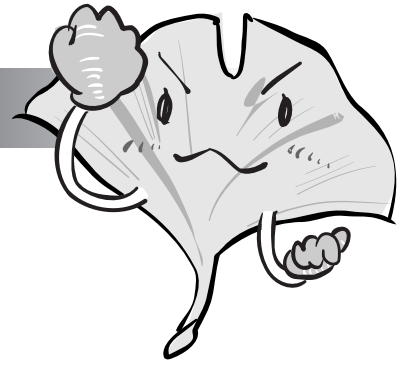
まずは旗あげアンケートで、皆さんの意見を聞きました。この地域では買い物は出雲へ、病院は阿東町へ出かける人が多く、現在の公共交通の状態には、ほぼ全員が「かなり不満」を選ぶ結果となりました。



移動手段は自家用車がダントツでした。しかし、全ての方が好きで運転しているわけではありません。高齢者が運転できなくなった時を考えるのが不安です。



皆さんの意見



生活バスについて

- ◇県庁前行きのバスとの接続が悪い。
- ◇佐波川ダム止まりの便を袖野まで運行してもらえると便利になる。
- ◇川上循環線は循環医療のある金曜日に運行してほしい。
- ◇運賃は少し高くても、便利の良いものがない。
- ◇回送で走っているバスは無駄に思える。乗れないものか？(阿東町福祉バスについても同じ意見あり)
- ◇バスは大きく無くていい。
- ◇1週間に1回、月3回でも良いので、便数を多くして運行してほしい。
- ◇徳佐行きのを増やしてほしい。

阿東町福祉バスについて

- ◇便数を増やしてほしい。
- ◇山口に行くには山口線を使う方法もあるので、ダイヤに合わせた便を作ってほしい。
- ◇笹ヶ滝までしか来ないので、旧営林署前まで延ばしてほしい。

その他

- ◇山口市になったのだから、中心地にも便利に行けるようにするべきだと思う。
- ◇今は運転できる人の車に同乗しているが、5年・10年先は、どうしようもなくなる。
- ◇この不便さは地域の人間でないとわからないと思う。行政の方に1週間ぐらい生活を体験してもらいたい。
- ◇福祉タクシーみたいなものをやる、地域のボランティアを育てられないものか？
- ◇ミニコミ誌に載っているイベントに行きたくても、交通が不便なので、行けない。

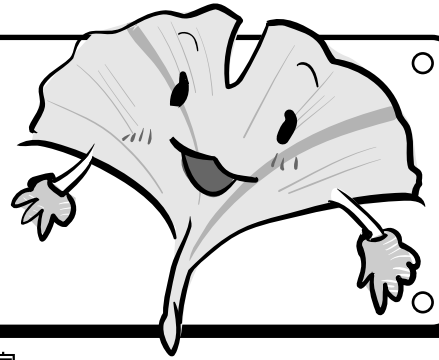
…などがありました。



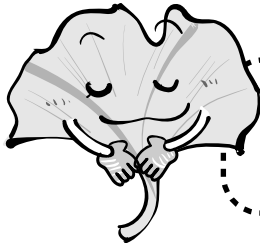
交通まちづくり委員の意見

- ◇現在の路線でも、時間帯やダイヤを変えれば、まだまだ使えると皆さんがお考えということが良くわかりました。
- ◇今のバスを改良して利便性を向上させることは、比較的容易にできると思います。
- ◇みんなで公共交通をつくり上げていく中で、どのような方法があるのか、「使えるようになったら、バスを使いましょう」ということにしていただけるのか、そのようなことをお互いに話し合いながら進めていきたいと考えています。

「より良い交通」のあり方を考える
地域検討会
— 徳地(出雲・八坂) —



山口市都市整備部都市計画課交通政策室



10月5日(木)、徳地(出雲・八坂)地域を対象とした地域検討会を山村開発センターで開催したところ、9名の方にご参加いただきました。ご参加の皆様、ありがとうございました。以下に当日の状況をご報告します。

プログラム

18:30~

開会 あいさつ、資料説明、公共交通の課題、問題点
よりよい交通に向けてのアイデア、まとめ

20:30

閉会



皆さんの意見

地域の実情について

- ◇三谷は70歳以上の方が95人ぐらいいるが、ほとんどの人が免許を持っていない。
- ◇バスの便利が悪いので、どうしても車を持っている人に頼ることになる。
- ◇高齢だが、田舎だからまだ運転できている。街ではとても運転できない。
- ◇不便なので、60歳で運転免許を取った。
- ◇子ども達が地域に定着しない。最近はお墓参りに帰る人も減っている。
- ◇年金生活なのでタクシーは(高く)利用しづらい。
- ◇あと5年ぐらいは運転をしたいが、先のことはわからない。その時バスが無くなっていると困る。
- ◇じわりじわりと高齢化している。日常生活(交通手段を含め)を個人個人で工夫し、模索して暮らしているが、それは行政には見えない。
- ◇車がありさえすれば、徳地は結構便利が良いので、今のところは皆どうにかしている。これから問題が出てくると思う。

生活バスについて

- ◇行き帰りの時間帯にあったバスが無いので、不便。
- ◇今のバスは降りたいところで下ろしてくれる。三谷は道沿いに家があるので、それは良いと思う。

その他

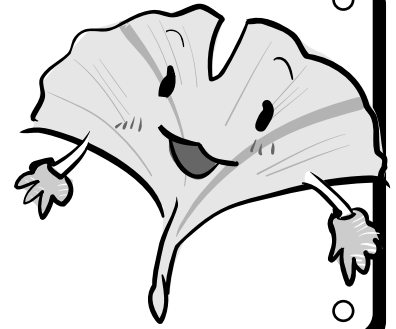
- ◇自分はバスを使っていないが、子ども達やお年寄りのために便利にすることは大事だと思う。
- ◇バスありきから話が始まっている。新しい交通はゼロからつくる事も考えてみてはどうだろうか。



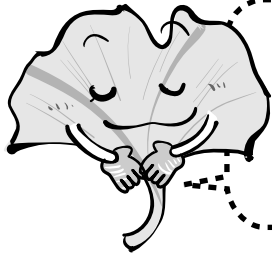
交通まちづくり委員の意見

- ◇今あるものをゼロにしてやるというわけではなく、生かせるものは生かして考えていくのが良いと思う。
- ◇この検討会だけでなく、地域の本当の声を聞いていくことが必要。
- ◇どうしたら良くできるかは、自由な発想で考え直すことも重要。自治会長さんや社会福祉の方などを巻き込んで皆で討議してみても?
- ◇今後は、地域がどのようなものを求めているのか、皆さんで話し合ってください、意見交換することで、地域の交通や全体の交通体系について少しずつ議論が深まれば良いと思います。

「より良い交通」のあり方を考える
地域検討会
徳地(島地・串)



山口市都市整備部都市計画課交通政策室



10月6日(金)、徳地(島地・串)地域を対象とした地域検討会を島地支所で開催したところ、34名の方にご参加いただきました。ご参加の皆様、ありがとうございました。以下に当日の状況をご報告します。

プログラム

| | |
|--------|--|
| 18:30~ | 開会 あいさつ 資料説明 旗上げアンケート 公共交通の課題、問題点 よりよい交通に向けてのアイデア まとめ |
| 20:30 | 閉会 |

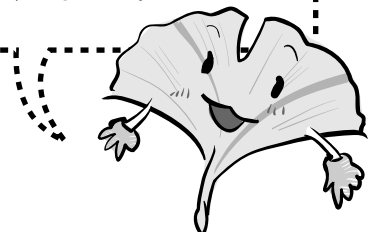


旗あげアンケート

まずは旗あげアンケートで、皆さんの意見を聞きました。公共交通の満足度については、なんと全員一致で「かなり不満」を選ばれました。



来場者の移動手段は自家用車がダントツでした。高齢の方が多い印象を受けましたが、ご自分の親御さんを車で送迎されている方もいらっしゃいました。自分達が運転できなくなった時が不安だという声も多くありました。



皆さんの意見

地域の実情について

- ◇福祉優待バス乗車証で市内は100円で行けるが、山口の中心地へ行くのは遠い。市外の周南・防府に行くと追加料金が要る。
- ◇串は集落が点在している。高齢化も進んでいて、病院も店も無い。そのような状況だから、車を運転できなくなった時は悲惨な状況となる。
- ◇私の年代(70歳)は、自分で運転して、親を病院に連れて行ったりできるが、10年経ったらハンドルは握れない。その時、若い者は面倒を見てくれないと思う。
- ◇人に頼めないから、堀まで電動カーで買い物に行く人もいる。
- ◇今は車に乗れる者で対応できるから、バスの利用者が少ないのだと思う。しかし、10年経ったら運転できなくなる。その時の移動手段はバスしかない。
- ◇足の弱った高齢者は、集積所までごみを持っていくことさえもできない。また、買い物袋を下げてバス停から家に帰る事も難しい。

生活バスについて

- ◇生活バスの停留所があるが、皆年寄りなので、そこまで歩いて出ることができない。また、時間帯が悪いので、行ったらなかなか帰れない。
- ◇地域に対して、バスを利用するメリットをどんどん植えつけていかないと先細りするのでは。
- ◇串-上角の路線は、串の中でしか運行していないので使い勝手が悪い。そのような便利の悪いバスなら利用者がゼロになってもしょうがない気がする。
- ◇税金を使うなら、皆が本当に利用できるようなルートで回ってほしい。

地域に合った交通について

- ◇串に合った交通対策をして、それを住民が利用・協力するというのをしないと問題の解決はしない。
- ◇毎日運行しなくても良いので、乗合タクシーで、予約があったら家から病院やスーパーまで直接送迎してくれるようなものがほしい。
- ◇買い物コース、金融機関コースなどがある目的バスのようなものがあると良い。1コース週1回でも良いので、日時と目的地を決めれば、利用者も計画を立てやすく、無駄がないと思う。
- ◇山口市と合併したのだから、島地経由で良いので、直接山口の中心地に行くことができるような直通便を考えてほしい。そうすれば福祉優待バス乗車証で山口に安く行ける。
- ◇料金より便利さが重要。(福祉優待バスの)100円にこだわる必要は無いと思う。

…などがありました。



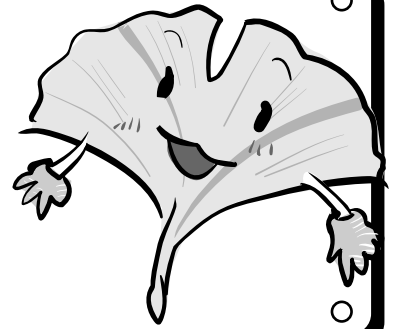
交通まちづくり委員の意見

- ◇より良い交通をつくらうとするならば、不満、意見だけではできません。例えば、デマンドタクシーであれば目的や曜日、お金の話を含めて「ここまでは地域ができます」というものを具体的に地域でまとめて、地域が本気になっているのだということを示せば、行政も動かないわけにはいかないはずです。
(検討会の盛り上がりを見て)ここの地域なら、きっとできると思います。

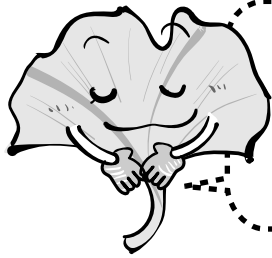
「より良い交通」のあり方を考える

地域検討会

小郡



山口市都市整備部都市計画課交通政策室



10月18日(水)、小郡地域を対象とした地域検討会を小郡総合支所で開催したところ、24名の方にご参加いただきました。ご参加の皆様、ありがとうございました。以下に当日の状況をご報告します。

プログラム

| | |
|--------|--|
| 18:30~ | 開会 あいさつ 資料説明 旗上げアンケート 公共交通の課題、問題点 よりよい交通に向けてのアイデア まとめ |
| 20:30 | 閉会 |



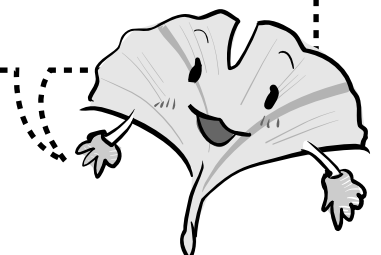
▲資料を説明している所です。

旗あげアンケート

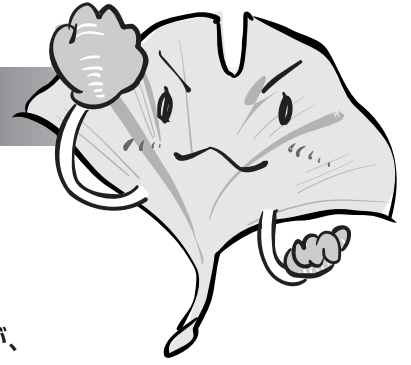
まずは旗あげアンケートで、皆さんの意見を聞きました。
この地域では買い物・病院共に小郡で済ませる人が多い結果となりました。
しかし、高台にお住まいの方を中心に、交通の不便さを感じている方が多く、交通に対する不満度は高いものとなりました。



高台の団地にお住まいの方の移動手段は「タクシー」という回答が目立ちました。



皆さんの意見



地域の状況等について

- ◇合併前からコミュニティバスを要望して、ようやく実現しそうになったが合併してから話が止まってしまった。
- ◇以前は光が丘に上がってくる路線バスが2便あり、時間があえば利用していたが、利用者(上郷小学校に通う児童)がいないという事で無くなってしまった。
- ◇昼間は若い人が出ているので、高齢者は家族の車に乗せてもらうことができない。自分が「乗せてあげよう」と言っても、やはり他人だから気がねされる。

高台の移動手段の確保について

- ◇路線バスの小郡-山口便を何便か高台まで上げてもらいたい。
- ◇試験的でも良いので、国道までのコミュニティ交通を運行してほしい(午前2便、午後2便ぐらい)。
- ◇運賃は安いにこしたことはないけれど、油もただではないので、ある程度は出すつもりがある。
- ◇コミバスを走らせてほしいと言う意見は金堀でもあるが、実際にコミバスを走らせても、利用者が多いとは一概にいえないので、私としては慎重に構えている。しかし、金堀・円座・光が丘ぐらいを回るようにすれば、ある程度収入が見込めるバスができるのではないかと思う。
- ◇新聞に、広島の口田地区で住民と行政と事業者が一緒になってうまく運営やっている乗合タクシーの例を見た。あのような感じのものはできないだろうか。
- ◇全便とはいわないが、コミュニティバスの川西ルートを農協会館(長谷西)まで上げてもらえたらと思う

その他

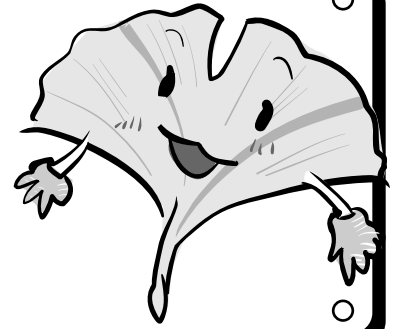
- ◇1区間だけタクシーを乗ると、運転手に嫌味を言われる。気がねしながら乗らないといけないのでつらい。…などがありました。



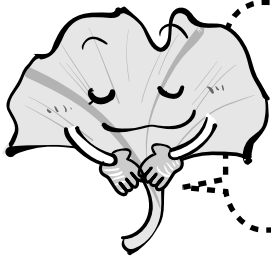
交通まちづくり委員の意見

- ◇コミュニティ交通を考えるならば、どのようなルートにするか、また、広くカバーするルートだと目的地まで回り道になる場合もあるので、その辺りの決め事や了承は、地域で話し合う必要があると思います。
- ◇税金ですべてを賄うようなやり方だと、市もお手上げ状態になるので、こういった形が一番安くて、全体的に不公平感がない方法になるかを考えなければならないと思います。
- ◇コミュニティ交通は、皆に乗っていただいて、長く続けられるものをつくらなくてはならないので、安易につくる訳にはいきませんが、今後、勉強会等で御意見をいただきながら、なるべく皆さんの本意になるようなものを、少しずつ具体化していければと考えています。

「より良い交通」のあり方を考える
地域検討会
阿知須



山口市都市整備部都市計画課交通政策室



10月19日(木)、阿知須地域を対象とした地域検討会を阿知須公民館で開催したところ、8名の方にご参加いただきました。ご参加の皆様、ありがとうございました。以下に当日の状況をご報告します。

プログラム

| | |
|--------|--|
| 18:30~ | 開会 あいさつ 資料説明 旗上げアンケート 公共交通の課題、問題点 よりよい交通に向けてのアイデア まとめ |
| 20:30 | 閉会 |

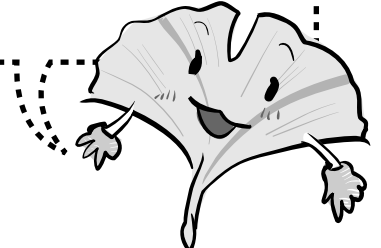


旗あげアンケート

まずは旗あげアンケートで、皆さんの意見を聞きました。



公共交通への不満の理由として、「便数が少ない」という意見がありました。また普段は、自家用車を利用している方が多いようです。



皆さんの意見

地域の実情について

- ◇山口県は道路が良く、マイカーには便利が良いが、高齢化が進んで運転ができない人が増えたらどうなるのだろうという気持ちがある。
- ◇サンパークで多く買い物してしまうと、袋が重いため歩いて帰ることができない。バスのダイヤがもっとあり、あちこち回り道をしなければ使うかもしれないが、現状では便利なマイカーに頼ってしまう。

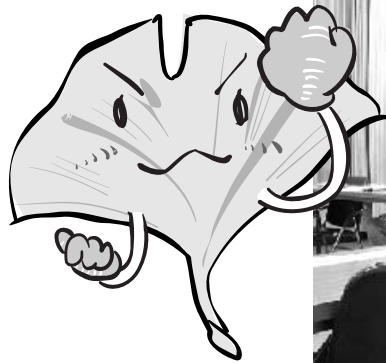
阿知須地域バスについて

- ◇1乗車100円というのは安いですが、便数が少なく、ルートが蛇行していて無駄が多いと思う。
- ◇赤字のため、そのうちバスが無くなるかもしれないと思っているが、病院通いなどで使っている方達を見ると、止めないでほしいと思う。
- ◇バスの時間帯が病院の診察などの時間と合っていない。必要ない場所にまでバス停をつくり過ぎ。

地域に合った交通について

- ◇ある程度までならお金にこだわらないが、便数の充実など、利便性の高い交通がほしい。
- ◇山口と一緒にしたのだから、山口に関心のある人が増えてくると思う。宇部線を充実させたり、山口行き路線バスを考えて、山口をもっと身近に感じるようにしてほしい。

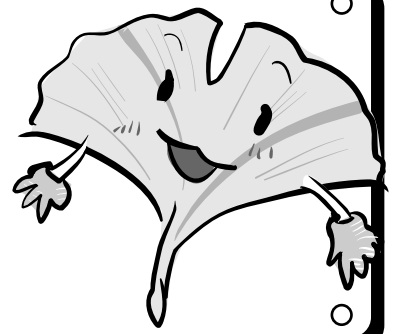
…などがありました。



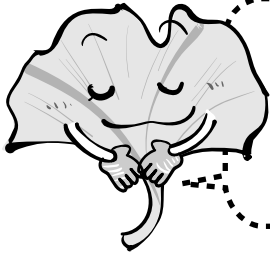
交通まちづくり委員の意見

- ◇せっかく税金を使うなら、便利なバスをというのは皆が思いますが、便利なものはコストが高くなります。安く乗れることも大事ですが、持続的な運行も考えて、必要な時には無くなっていったという事にならないようにしなければなりません。
- ◇昔と違い、今はマイカー社会で、高齢者も免許を持っています。公共交通だから事業者が責任を持って便利で安い交通を提供するという時代でも、行政に補助金を出せという時代でもないのです。その中で公共交通をどう考えるか、残すかという問題になっています。
- ◇阿知須が求めている交通は2つあるように思う。1つは目的地にある程度ダイレクトに行ける乗合タクシー、もう1つは地域を回り、宇部線のダイヤに連絡しているバス。そういうものがあれば次の世代も安心してこの町で暮らせるのかもしれませんが。
- ◇より良い交通を創ろうという盛り上がりは、地域だけでは厳しいので、事業者や行政も協力しなければならない。そして、できるものから始めていけば良いと思う。この検討会で終わらずに、これからも一緒に考えていきましょう。

「より良い交通」のあり方を考える
地域検討会
秋穂



山口市都市整備部都市計画課交通政策室



10月20日(金)、秋穂地域を対象とした地域検討会を秋穂総合支所で開催したところ、15名の方にご参加いただきました。ご参加の皆様、ありがとうございました。以下に当日の状況をご報告します。

プログラム

| | |
|--------|--|
| 18:30~ | 開会 あいさつ 資料説明 旗上げアンケート 公共交通の課題、問題点 よりよい交通に向けてのアイデア まとめ |
| 20:30 | 閉会 |

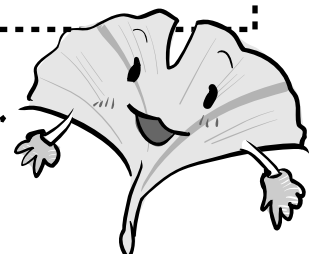


旗あげアンケート

まずは旗あげアンケートで、皆さんの意見を聞きました。



公共交通への満足度に対し、「満足」という意見はなかったものの、「まあまあ」という意見も見られました。また、食料品程度の買い物ならば、秋穂地域で済ませておられる方が多いようです。



皆さんの意見

地域の実情について

- ◇大海地区は防府に出る人が多いが、市外になるので福祉優待バスの制度が使えない。どうにかして制度が使えるようになったらいいと思う。
- ◇公共交通をどの方面に充実してほしいかと聞かれても、年代や家庭の事情で違うので一概に言えないと思う。
- ◇今は運転しているが、あと何年運転できるかといつも考えている。車が運転できなくなったら、日常生活は公共交通に頼らざるを得ないので、5年先、10年先を考える必要があると思う。
- ◇バス停は近いが、マイカーを運転できる間はたぶんマイカーを使う。
- ◇秋穂は総合病院、高校などといった施設が無いので、よその地域に行かざるを得ない。だから余計バスの運賃が高く感じる。
- ◇子どもを駅まで送迎する親が多い。過保護なのではなくて、バスを使っていたら家計がもたないから。通学と塾で何回も往復している人もいる。
- ◇通学の帰り道は、子どもを1人では置いておけないので、必ず駅まで送迎している。毎日のことなので、自分は絶対病気になるプレッシャーを感じる。
- ◇秋穂ではかなり家計が厳しくても、車を持っている人が多い。他の地域ではぜいたく品かもしれないが、秋穂では生活必需品。

現在の公共交通について

- ◇バスもタクシーも運賃が高い。バスは便が無いわけではないが、使っていない。
- ◇通学に使えるよう、バスに学割的なものを検討してほしい。

地域に合った交通について

- ◇利用時間を合わせてタクシーを乗り合わせれば、1人当たりの運賃が安くなるので使いやすくなると思う。
- ◇片道の運賃が500円くらいまでなら、家計としても安心して、子どもの通学に使える。
- ◇デマンド型のコミュニティタクシーにすれば、もう少し乗る人が増え、事業者も採算を取る事ができるのでは。
- ◇将来の地域づくりのためには、交通に対しても、ある程度身銭を切ってやらなければならないと思う。
- ◇今後、小郡や秋穂に図書館ができるので、そこまでの交通手段を確保してほしい。

…などがありました。



交通まちづくり委員の意見

- ◇せっかく皆さんの要望でコミュニティ交通ができて、使わなかったら無駄になってしまうので、そのあたりも考えないといけないと思う。
- ◇規制緩和で、いろいろな方法でコミュニティ交通ができますが、始めるには、住民が言い出すという事が一番大事になります。
お客様である住民が「この方法が秋穂には適しているんだ、だからこういう方法を取りたい。」という声を出せば、行政もそれをできる事業者を探さないといけないし、それに応える交通事業者もいるはずですよ。
- ◇これから、皆さんで将来の公共交通のことを考えていただいて、この地域にどんな公共交通が必要か、どういうものだったら皆さんに使ってもらえるかを、話してみたいと思います。そういった動きを見せていただければ、具体的な話を一緒にしていきたいと考えています。